

**防犯一口広報**

- 令和5年9月末現在の一宮警察署管内の刑法犯認知件数は1,514件で、前年対比で195件増加しており、9月中は空き巣が9件発生したほか、車上ねらいが14件、自転車盗も24件と多発しました。
- 空き巣などの侵入盗被害を防止するためには、強化ガラスやシャッター、雨戸を活用して侵入に「時間」をかけさせること、センサーライト等による「光」、防犯ブザーや防犯砂利による「音」、地域一体となった声掛けによる「地域の目」（防犯四原則）を組み合わせることが有効とされています。
- 特殊詐欺被害は、9月末時点で43件（前年同期比+6件）の被害を計上しており、被害総額は約1億4,200万円に上っています。

特に本年は架空料金請求詐欺の手口による被害が多発しており、最近では自宅の固定電話だけでなく、携帯電話にも大手電話会社等を騙る者から着信が入り、応答すると音声ガイダンスにつながり、未納料金名目で現金をだまし取る手口が発生しています。

実在する会社からの連絡でも安易に応答することなく、一旦電話を切って、家族や警察に相談するようにしましょう。
- 市では特殊詐欺対策装置の購入補助事業を行っています。留守番電話設定や特殊詐欺対策装置を活用し、犯人と直接会話をしない物理的な対策をとりましょう。

**交通安全一口広報**

- 令和5年9月末現在の一宮市内の人身交通事故件数は、前年同期比+145件の1,014件、交通事故死傷者数も前年同期比+172人の1,202人となっており、依然として増加傾向にあります。
- 10月5日には本年6件目（前年同期比+2件）の交通死亡事故が発生しました。

高齢の運転手が車線逸脱したことによる事故でしたが、全国的に高齢者の運転操作ミスが原因と思われる事故が多発しています。

また、運転中の体調急変や発病による事故は、他人を巻き込むなど、重大な結果を発生させます。体調不良時は運転を控えるとともに、運転中に体に異変を感じた時は運転を中止しましょう。
- 午後5時から7時は交通事故が多発することから、「魔の時間」と呼ばれています。

日没時間も早まってくることから、車両の運転手は早めのライト点灯を心掛け、歩行者は明るい服装と反射材の活用努めましょう。